

第 48 卷 PDF 読本



浦賀駅



羽田空港駅



京浜急行電鉄

2025年1月13日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

第1章 京急本線・京急逗子線・・・6

第2章 京急久里浜線・・・・・・・・・・26

第3章 京急空港線・京急大師線・・・・・・・・31

京急本線（泉岳寺～品川～浦賀：営業キロ 56.7 km）

京急逗子線（金沢八景～逗子・葉山：5.9 km）

京急久里浜線（堀ノ内～三崎口：13.4 km）

京急空港線（京急蒲田～羽田空港第1・第2ターミナル：6.5 km）

京急大師線（京急川崎～小島新田：4.5 km）

総営業キロ 87.0 km

京浜急行電鉄路線図



はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 43 弾目として、山手線・東海道本線・横須賀線などに接続する、神奈川県・東京都を走る、京浜急行電鉄の旅（総営業キロ 87.0 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 58 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2005 年 6 月～2009 年 2 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次の PDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 46 編（日本横断歩き鉄の旅）

京浜急行電鉄



カッシー館
トップ画面に登場
(久里浜線)

2022 年 2 月 11 日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 京急本線・京急逗子線

第1節 浦賀～上大岡

浦賀(10:25)～馬堀海岸(10:55)～京急大津(11:10)～堀ノ内(11:25)～
県立大学(11:50)～横須賀中央(12:15)～汐入～逸見(13:20)～安針塚(13:45)～
京急田浦(14:45)～追浜(15:12)～金沢八景(15:50)～金沢文庫(16:15)～
能見台(16:47)～京急富岡(17:05)～杉田(17:55)～屏風浦(18:15)～上大岡(19:15)

2005年8月13日(土)、浦賀から上大岡までの24.7Kmに挑戦する。天気予報では余りよくなかったので、遠出は控え、雨が降っても直ぐ引き返すことができるコースを選定した訳である。そんな訳で本日のコースは朝起きて決めた。朝6時過ぎに起き、セブンの散歩を済ませてから臨んだ。ひばりが丘一丁目8時53分発のバスでさがみ野に移動し、そこから相模鉄道で横浜駅に。そして京急の快特に乗り換え浦賀に行く。時計を見ると10時25分だった。浦賀はペリー到来の場所でもあり、浦賀駅は駅舎も含めかなり立派な駅前と思ったが、意外にも貧弱だった。駅は丘に面しており手狭な感じであった。線路の右に移動し馬堀海岸を目指す。500m位歩いた先から、石畳の急な歩道となる。本日のコースは小高い山が複数あり、多くのアップダウンの踏破を余儀なくされた。それ故、営業距離以上に歩きを要求された。内房線や外房線でも経験したが、海岸線は地形が複雑のため意外にも複数のトンネル(隧道)と対面した。しかし、このことは3年前JR久里浜線踏破の際学習済みの記憶が蘇り、予定の行動で難局を対処することができた。



浦賀駅

馬堀海岸駅

いつのまにか、鉄道が私の右手側から左手側になっていた。起伏ある坂で鉄道を通じたのであろう。また、薄日が射して来た。馬堀海岸(まほり)には10時55分、京急

大津駅には 11 時 10 分に到着。大津駅には宿守稲荷社（1713 年発足）があった。



※京急大津駅、堀ノ内駅

本日は、前回の JR 線（矢板=宇都宮）に比べ、駅が十数個あり写真の撮影に負荷を余儀なくされた。大津駅から少し行くと国道 16 号に出る。ここからは、数ヶ月前に通ったので記憶が蘇ってきた。予定の行動で堀ノ内駅（11 時 25 分）に向かう。鉄道の右側をキープし住宅街を歩き、県立大学には 11 時 50 分到着。



※県立大学駅、赤門

遠くから駅が判明できる位、県立大学は丘の斜面を切り開いた箇所に建てられていた。駅舎はクリーム系で印象に残る建物であった。この大学から少し行った先に「赤門」（11 時 55 分）があった。東大の赤門にも少し似ていた。看板には横須賀市制施行 70 周年記念、横須賀風物百選とあった。赤門は長屋門で武家屋敷の主門と解説していた。横須賀中央駅には 12 時 15 分到着。この近郊も 3 年前踏破したので懐かしさを感じた。駅前のカレーハウス壺番屋で一服。



※横須賀中央駅

20分位休憩して、金沢文庫を目指す。途中 JR 横須賀駅には 13 時 5 分通過。うっかりして、汐入駅を見逃す。国道 16 号から 200m 位入った先に逸見駅 (13 時 20 分) があった。通常ならば、駅に沿ってある程度歩ける道路があるのであるが、本日のコースに限っては金沢八景まで例外であった。従って、歩いた道を引き返すことが余儀なくなった。吉浦隧道 (13 時 40 分) の手前で安針塚駅 (あんじんづか) の案内版があった。この駅は国道から 300m 左折した先にあった。駅前には長浦小学校跡地 (平成 8 年 11 月) を利用して、北消防署長浦出張所と長浦地域自治活動センターがあった。



※汐入駅、逸見駅



※安針塚駅、京急田浦駅

国道に戻り長浦隧道(240m)の中で救急車と出くわす。この隧道を出た先で止まり、急病人を乗せていた。新吾妻隧道(14時5分)、新田浦隧道(14時10分)を越えた先でJR横須賀線が前方の頭上を鎌倉方面に向かい通過する。新船越隧道(14時31分)を少し行った先に京急田浦駅(14時45分)があった。国道16号線に面していた。新浦郷隧道(14時50分)を少し行った先で本日2回目の救急車が通過して行く。追浜駅には15時12分到着。この駅も国道16号線に面し、改札口は5m位階段上がったビルの中にあった。駅近郊は横須賀の町並みに準じる位、立派なアーケードを持つ町並みであった。ここからは暫くフラットが続いた。



※追浜駅、金沢八景駅

京急逗子線や横浜新都市交通が繋がる金沢八景には15時50分到着。この駅から少し行くと金沢文庫車庫にぶつかる。踏切を渡り鉄道の右側に移動する。鉄道に沿って横浜市立大学があった。また、目と鼻の先に東急車輛製造(株)があった。少し行った先で陸橋を渡り鉄道を横切る。陸橋の下には川があった。工事中的ガタガタ道を通り、金沢文庫駅には16時15分到着。駅前には「海の公園」(1,500m先)と「史跡称名寺境内」(900m先)の看板があった。



※金沢文庫駅

能見台（のうけんたい）には16時47分到着。この駅から少し行くと、鉄道の右側に沿って高校野球でお馴染みな横浜高校があった。京急富岡駅には17時5分到着。富岡隧道（17時28分）の先に「青砥」という地名があった。17時45分、前方頭上で根岸線を見つける。少し行った先に商店街を見つけ左折する。商店街の先に杉田駅（17時55分）があった。駅舎はスーパー（東急か）と面していた。本来ならば、この駅で打ち止めにすべきであるが、欲張り1.3Km先の屏風浦駅と更に2.2Km先の上大岡駅を目指す。



※能見台駅、京急富岡駅



※杉田駅、屏風浦駅

屏風浦駅には順調に18時15分到着。まだ、行けると思い上大岡駅を目指す。ここからウォーキングの醍醐味に出会うことになる。屏風浦駅から500m位行った先で分岐点があり、右に行くか左に行くか迷う。前方には小高い山を考慮し、鉄道を離れる道路を選ぶ。この選択が失敗したような気がする。辺りは薄暗くなりかけていたので地図で確認することはできなかった。200m位の最近できたと思えるトンネルを通過する。トンネルを出ると汐見台という地名だった。汐見台薬局やA・COOP（18時27分）があった。雷の音を突然耳にする。汐見中学校（18時38分）を過ぎた辺りで雨の滴を感じる。それから間もなくすると夕立となる。途中、夕立を通り過ぎるのを待っている人（65歳位の男性）に上大岡駅への道を確認する。ここで初めて道に迷っていることに気づく。

暫く雨宿り（10分位）をして、小降りになるのを待つ。ここからは数人の人に細切れに道を尋ね、上大岡駅を目指すことになる。辺りはすっかり暗くなり不安は増すばかりであったが、何とか19時15分、上大岡駅に到着することができた。夕立や道に迷う場面に遭遇したが、杉田駅から上大岡駅まで思い切って歩き、ウォーキングの醍醐味と対面できてよかった。自宅には20時50分到着。本日の万歩計は64,201歩であった。



※上大岡駅

<泉岳寺～品川>



※2022年1月21日（金）山手線リベンジの際撮影

～第16回わいわい会：赤穂浪士凱旋コース（両国＝泉岳寺）で対応

わいわい道中記（50回記念号）より～

第16回目のわいわい会（高松一高同窓に歩き会）は、ハイキング会と合同で、平成16年12月11日（土）快晴の中実施する。本日のコースは「赤穂浪士の凱旋コースを歩く」というテーマで行なう。JR 総武線両国駅に35名が集まる。今日も私が最初で9時20分頃両国駅に到着する。今日から小田急線のダイヤ改正があり、快速急行が新設された関係で、3～4分位新宿までのアクセスが縮まった。両国駅に着くや否や全労済グループや観光ツアー等々、色んなハイキング会が待ち合わせていた。本日の主催者である谷本さんが9時半頃お見えになる。



両国駅



我々高松一高関東同窓会も全労済グループに対抗し、黄色い旗を出す。岡崎さん、石川さん、桑島さんと順次メンバーが揃う。最後の坂本さんが10時丁度位にお見えになり、本日出席予定のメンバーが全員揃う。今日は、わいわい会・ハイキング会に初参加の方が数名いてとても嬉しかった。本日のコースの素晴らしさを感じた。また、人数も35名とハイキング発足当時の人数には及ばなかったが人数的にも満足した。岡崎先輩の点呼があり、10時10分両国駅をスタートし、泉岳寺を目指す。今日のコースは以下の通りである。

回向院

- （えこういん：義士をかくまい後々の争いごとを嫌い、中に入れてくれなかった）
- 吉良邸跡（本所松坂公園） → 両国橋 → 永代橋
 - 深川八幡神社
 - 霊巖島（八丁堀：義士の子息4名がここから伊豆大島に送られた）
 - 佃大橋際 → 聖路加国際病院（鉄砲州の浅野家上屋敷）
 - 築地本願寺 → 歌舞伎座（浅野大学の屋敷跡）
 - 築地（江戸銀で昼食） → 新橋
 - （浅野内匠頭が切腹した田村左京大夫の屋敷あり）
 - 浜松町 → 増上寺（徳川家歴代の墓） → 泉岳寺

最初は吉良邸跡からの予定であったが、混雑しているとのことで、順番を変え回向院（10時25分）からスタートする。回向院は、昨年9月6日（土）門前仲町から両国までのハイキング会の中で立ち寄ったことがある。特に栃東関と秋場所の前日ここであったのが印象的である。吉良邸跡は回向院から歩いて5分くらいのところにあった。



師走の街を歩く



吉良邸

ここも回向院と同時期に来たことがある。また、記憶のある芭蕉記念館の前も通る。沿道は至る所で、年末風情が漂っていた。また、小春日和も重なり人通りも多かった。景気も心配ないかも知れない。永代橋の手前で、我が母校出身という松岡さんから「高松一高出身の会ですか。私もそうです。木内さんと同級生です。私は若い頃サッカーやっていました。残念ながら同窓会の案内はもらっていませんが」と声がかかる。世間は狭いと感じた。これまで何回もウォーキングを通じて、多くの同窓仲間等に偶然にも出会った。荒川都電、中央線、京葉線、京浜東北線しかり、そして東横線しかり。今日は、かつて日本生命の支社長等で活躍された松野先輩と終始一緒に歩かせて頂く。生命保険環境や趣味等を中心に、松野先輩の若い頃のお話を聞かせてもらった。



増上寺

12時半頃、築地の江戸銀本店で昼食。さすが江戸銀だけありネタがとてもよかった。昼食の時間を利用して、わいわい会の宣伝をする。昼食後、江戸銀前で記念写真を撮る。芝公園でも集合写真を撮る。東京タワーが目の前にあった。銀杏が3分くらい散っ

たが、芝公園の紅葉はとても綺麗であった。芝公園でトイレ休憩後、徳川家の歴代の墓がある増上寺には14時55分到着。初めて増上寺内を散策する。お地蔵さんが沢山あった。



泉岳寺

泉岳寺には15時50分到着。途中、都合により山田会長、坂本さん、梶河さんが途中でアップする。32名がここで解散となる。自宅からの万歩計は31,503歩だった。ここから希望者は渋谷の忘年会会場「膳丸」に移動し、今年一年間について語り合う。17時前から20時半過ぎ位まで懇談。2次会はカラオケ（ビーアンドブイ）で締めくくる。福家さん・藤原さん・桑島さん・鶴巻さん・村石さん・片岡さん・藤本さん・谷本さん・宇賀神さん・中代さん・矢野さん・榎原の12名。23時に解散する。自宅には0時40分着。本日の営業キロは、鉄道に換算（両国―品川）して10.7kmであった。万歩計は36,708歩だった。このウォーキングが今年一年の締めとなった。

第2節 上大岡～横浜、京急逗子線（逗子・葉山～金沢八景）

<逗子・葉山～金沢八景>

逗子・葉山(10:00)～上武寺(10:43)～六浦(11:25)～金沢八景(11:53)

2005年8月20日（土）、先週に引き続き、京急本線の上大岡から横浜までの8.6Kmを挑戦。その前に5.9Kmの逗子線（新逗子＝金沢八景）を踏破してからとする。本来ならば、炎天下の中で東武日光線の続きと行きたかったが、夕方家事都合があるため近場に変更する。6時過ぎに起床し、愛犬セブンを散歩させてから臨んだ。ひばりが丘一丁目バス停8時23分発で相鉄さがみ野駅に向かう。今日も運良く京急横浜駅から特快に乗ることができた。金沢文庫駅で浦賀行きの各駅停車に乗り換え、一駅先の金沢八景まで行き、そこで品川方面から来た新逗子行きに乗る。途中トンネルを通過し、新逗子駅には10時少し前に到着。



※逗子・葉山駅（新逗子駅）、神武寺駅

駅前には横須賀線踏破の際見覚えがある延命寺が川に沿ってあった。地図を見る限り、新逗子駅から 300m 位離れた JR 逗子駅の踏切を通過し、県道 205 号に出るしかなかった。しかし、何とか鉄道つたい歩きして県道 205 号に出られるのではないかと判断して 300m 位進んだが丘等に遮られ引き返す。確認のため住人にも聞くが、神武寺駅への道はないとのこと。

神武寺駅（じんむ）は県道 205 号にほぼ隣接してあった。10 時 43 分の到着である。逗子中学校、県立逗子高校前を 10 時 50 分通過。本日も 11 時、救急車と対面する。100m 位の池子隧道を通過すると、逗子市から横浜市となる。山間を利用して六浦霊園と八景苑があった。蝉の合唱が聞こえて来た。新逗子線を越える六浦橋を通過すると、十数年前にマイホームの外壁の色を決めるために訪れた六浦駅があった。11 時 25 分の到着である。臨濟宗円覚寺泥牛庵を 11 時 47 分通過。金沢八景駅には 11 時 53 分に到着 (16,950 歩)。少し早いですが駅前の中華栄やで一服。



※六浦駅、金沢八景駅

<上大岡～横浜>

上大岡(12:35)～弘明寺(13:12)～井土ヶ谷(13:35)～南太田(14:00)～
黄金町(14:15)～日ノ出町(14:35)～戸部(16:10)～横浜(16:30)



※弘明寺、弘明寺駅

先週と同じ経路で、金沢八景駅から上大岡駅まで電車で移動する。考えごととして、本日もまた落し物をする。100円ショップで買ったサングラスである。上大岡駅には12時35分到着。駅は京急百貨店の中にあった。駅に沿って幹線道路があった。本日は先週と反対の鉄道の右側からのスタートとなる。雲ひとつない炎天下で、道路から蒸し風呂でも入っているような照り替えがあった。今年一番の夏を感じた。今日は鉄道に沿い至るところで夏祭りの場面と対面する。

商店街の中に弘明寺(13時5分)があり、30m位の階段を上り本堂をお参りする。また、身代わり地蔵にもお参りする。弘明寺駅には13時12分到着。ウォークマンから高校野球に切り替える。2回表1対1の場面であった。第87回全国高校野球決勝戦の駒大苫小牧対京都外大西の熱い戦いの序盤であった。2年前の久留里線の時も決勝戦を聞きながらの歩きとなった。その再来である。高校野球は気迫と気迫のぶつかりで爽快な気分を味わえる。井土ヶ谷駅には13時35分、高校野球でお馴染みなY高(横浜商業高校)前を通り、南太田駅には14時到着。



※井土ヶ谷駅、南太田駅

黄金町駅（こがねちょう）には14時15分。駒大はノーアウトのランナーをバントでいずれも併殺打となる。思わぬところから、駒大が3対1でリードする場面であった。川沿いを歩き、野毛山動物公園の最寄りの駅である日ノ出町駅には14時35分到着。この駅は20年位子供を動物園に連れて来たので何となく記憶があった。ヘンリー・スペンサー・パーマー（創設水道 顧問工師長）の像のある公園の先に野毛山動物公園（15時7分）があった。京都外大が3対3に追いつき更に3対5で再引き離される場面であった。



※黄金町駅、日ノ出町駅

暫く、野毛山公園沿いを歩く。鉄道が地面に潜っていることを知らず、誤ってとんでもない方向に行く。西戸部町から藤棚町方面に進む。行けども行けども線路は見えず。駒大が優勝を決める場面であった。何となく可笑しいと思い方向転換して大通りに出る。滝頭行きのバスと対面する。方向転換していないと保土ヶ谷の方向に進むところであった。平沼町の案内版を見てかなり方向を誤っているのを改めて知る。数人に横浜駅方向を尋ね、運良く戸部駅には16時10分到着。道路を京急が横切っていた。右側の道路に戸部駅があった。1.4Kmの歩きに95分要した。戸部警察署のお巡りさんに確認のため、横浜駅を聞く。道路を道なりに行くと横浜駅東口に出るとのことであった。横浜駅には16時30分到着。相鉄横浜駅16時58分発で自宅へ。自宅には17時55分到着。愛犬セブンが玄関まで迎えに来てくれる。本日の営業距離は14.5Km、万歩計は48,993歩だった。



※戸部駅、横浜駅

第3節 品川～横浜

品川(10:45)～北品川(11:12)～新馬場(11:20)～青物横丁(11:36)～鮫洲(11:45)～立会川(11:58)～大森海岸(12:31)～平和島(12:58)～大森町(13:10)～梅屋敷(13:24)～京急蒲田(13:41)～雑色(14:05)～六郷土手(14:26)～京急川崎(14:55)～八丁畷(はっちょうなわて、15:31)～鶴見市場(15:58)～京急鶴見(16:17)～花月総持寺(16:28)～生麦(16:45)～京急新子安(17:07)～子安(17:20)～神奈川新町(17:32)～京急東神奈川(仲木戸、17:46)～神奈川(18:01)～横浜(18:17)

本年2回目のウォーキングは、2009年2月11日(水)曇り空の中実施。朝6時過ぎに起床し、愛犬セブンを散歩させる。朝起きた段階ではどこを歩くか決まっておらず。犬をさせながら、どこを歩くか考える。色々思案した結果、京急線の品川＝横浜間(22.2Km)を選定する。9時過ぎ自宅を出て、中央林間まで歩く。本日は小田急線と千代田線は活用せず、東急田園都市線と山手線を乗り継いで品川駅まで移動する。途中田園都市線内で「目白で人身事故があり、山手線の内回り・外回りとも運転を見合わせている」とのアナウンスがあり。それでどのような方法で品川まで行くかを考える。思案した結果、表参道で銀座線の乗り換え新橋まで行き、そこから京浜東北線で品川まで行くことでまとまる。しかし、この作戦もとりこし苦労となり、渋谷の手前で内回り(品川・東京方面)が復旧したとの情報を得ほつとする。品川に到着する頃には曇り空からうす曇りになる。



※品川駅、次男坊と同じ発音のラーメン屋

品川駅には 10 時 45 分頃到着する。将来青春 18 きっぷの販売停止という噂を聞いたため、この情報の信憑性を窓口で問い合わせる。しかし、この情報は誤報らしく安堵する。すっきりした気分で、横浜に向かってウォーキングを開始（10 時 55 分）する。本日は品川から横浜までの 22.2Km に両駅を含め 25 の駅が登場するので、写真撮影に神経を費やす。地図を一度も見ず進む。このコースは京浜東北線の踏破を通じてクリアしたこともあるからだ。11 時 1 分、品川駅から直ぐ出た先で、高架した京急線の下にある「けいすけ」のラーメン屋が次男坊と同じ発音のため目につく。11 時 5 分、品川第 1 踏切を横切り鉄道の左側に出る。11 時 10 分東海道品川宿の看板を見つける。通り沿いにかつての品川宿が続いていた。再度、北品川第 1 踏切を横切り鉄道の右側に出る。少し行過ぎていたが、11 時 12 分、北品川駅に到達する。この駅の近くに東海道品川宿入口の看板があった。



東海道品川宿 北品川駅

11 時 20 分、国道 15 号線の向こうには品川神社（東海七福神のひとつ：大黒天）があった。11 時 20 分、本日 3 番目の新馬場駅に到着。少し行った先に山手通りと目黒川があった。この近くで威勢のいい軍歌をならした十数台の右翼団体の車とすれ違う。同時に「横浜 23Km、川崎 10Km、大森 3Km」の道路標識を目にする。青物横丁駅には 11 時 36 分に、東大井にある鮫洲（さめず）駅には 11 時 45 分到着する。国道 15 号線の向こうには食欲を掻き立てる吉野家や松屋と並ぶすき家があり、昼食にしようと考えたが、道路を渡るのに大変なのでパスする。



新馬場駅 青物横丁駅



鮫洲駅 立会川駅

11時58分、第一京浜から50m位入った先に立会川駅があった。ここの地名は南大井とあった。高架されたところに駅舎があるのは共通していたが、これまでの駅が国道に沿ってあるのに対し異なっていた。駅にはほぼ面して川幅5m位の川（立会川か）があった。12時8分、道路頭上を京浜線がある。すなわち鉄道の左側になる。ここからは主として鉄道の左側を歩くことになる。



※大森海岸駅

東海七福神

12時13分、しながわ水族館前を通過する。この少し先で国道15号を横切り道路の右側の歩道を歩く。12時20分、大森海岸駅手前にある、高架された京急線の下にある吉野家を見つけたので入り、待望の牛丼と生野菜を食べる。店には満席状態であったが、運良く1名なので待ち時間なく座れる。ここで10分程度休息する。大森海岸駅には12時31分通過。陸橋を渡った先にJR大森駅が右側方向650m先にある旨の標識があった。

この近郊に磐井（いわい）神社があった。神社内には直径 2～3 m 位の保護樹林と東海七福神の看板があったのでメモする。

東海七福神

磐井神社（弁財天）→10分→浜川神社（福祿寿）→30分→品川寺（毘沙門天）
→10分→荏原神社（恵比寿）→3分→一心寺（寿老人）→1分→
法禅寺（布袋）→1分→品川神社（大黒天）

※ 品川神社社務所

品川区北品川 3-7-15 (474) 5575



平和島駅



大森町駅 梅屋敷駅

12時53分、郵社大森神社があった。それにしても第一京浜沿いに神社が多いのには驚いた。12時58分、平和島駅に到着。左側頭上には産業道路があった。また少し行った先で環七通りが交差していた。13時1分、FUKOKUが記載されたビルを見つけ思わずメモする。正面玄関にはフコク物産と記載されていた。この近郊で鉄道の路線が高架から通常の道路の高さとなる。ただし、鉄道高架の工事がされていた。13時10分、大森町（おおもりまち）駅に到着。13時18分、貴菅神社があった。

梅屋敷駅には13時24分に到着したところで、丁度下り電車が来る。本日の京急線はそれにしても1Km位間隔で駅が次々と登場するので骨が折れる。13時30分、駅から直ぐ行った先に明治天皇が立ち寄られた旨の記念碑（明治天皇行幸所 蒲田梅屋敷）がある梅屋敷公園があった。この公園は京急線に沿ってあった。



蒲田梅屋敷 京浜蒲田駅

13時41分、工事中の京浜蒲田駅に到着する。この辺りで瞬間的に少し太陽が顔を出す。お馴染み箱根駅伝で登場する京急空港線蒲田踏切を13時43分横切る。今度は右翼団体の車が私を追い越して行く。14時1分、熊野神社の看板先を通り過ぎる。14時5分、国道から50m位入った先に雑色(ぞうしき)駅があった。近くには商店街があった。14時26分、六郷土手駅に到着。この駅も国道から少し入った先にあった。多摩川が直ぐ近くにあり、道路が複雑になっていた。14時31分、私の万歩計で807歩ある多摩川(大郷橋)を横切る。河原にはゴルフの練習場があり、多くの人が汗を流していた。この近郊の河原は東京側のみで神奈川側には全くなかった。多摩川を渡ると東京都大田区から神奈川県川崎市となる。



雑色駅 六郷土手駅

多摩川を渡った先で国道から一般道に入り、京急川崎駅に向かう。京浜川崎駅には14時55分到着する。ここで念のため、JR川崎駅の駅舎をカメラに収めるため200m位歩く。JR川崎駅(15時1分)では若者による音楽隊があった。この駅ビルでトイレ休憩をする。駅前にはヨドバシカメラがあった。数年前鶴見線で踏破した八丁畷(はっちゃんなわて)駅には15時31分到着。この駅で南武線が交差する。この駅が本日京急線で唯一これまでと異なる駅舎だった。この近郊でMDウォークマンが電池切れとなり、歩く友を失う。



京浜川崎駅

八丁畷駅

15時47分、鶴見市場駅に到着。15時58分、万歩計で225歩の鶴見川（鶴見橋）を横切る。16時17分、京急鶴見駅があった。直ぐ近くに JR 鶴見駅があった。京急品川駅のように、大森駅、蒲田駅、川崎駅それから鶴見駅において鉄道の連結（広義の意味で傘をささずに行ける）は残念ながらされていなかった。恐らく地形的や競合上の理由からであろう。



鶴見市場駅

京急鶴見駅



花月園前駅

生麦駅

16時28分、頭上の JR 線を潜る。16時33分、花月園前駅を踏破。私の前を丸々した猫が塀からおり通過して行く。16時45分、生麦駅をクリア。辺りが少し暗くなりかける。16時52分、再度 JR 線を潜る。17時7分、京急新子安（こやす）駅に到着。辺りは相当暗くなる。近くに私がよく利用する東横インがあった。17時20分、鉄道を横切

った先に子安駅があった。駅舎の写真撮るや否や元の位置に戻り鉄道の左側をキープして歩く。



京急新子安駅 子安駅

17時32分、神奈川新町駅に到着する。駅舎には電光板が消灯されていたので、駅ホームで代用する。17時42分、京急線の下を潜り鉄道の右側に出る。仲木戸（かなきど）駅には17時46分に到着。道路上にある駅名の表示は消灯されており見えず。それで10m位階段を上り、電光板の駅名をカメラに収める。17時55分、仲木戸第1踏切を横切り鉄道の左側に出る。踏切で上下の電車が通過して行く。後方にはJR線があった。数年前あるいた光景を思い出す。この近郊は線路が10本位あった。京急線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、南武線が並行してあるからだ。道路より下に神奈川駅（18時1分）があった。この駅も駅舎が消灯されていたので、駅ホームで代用する。この近郊は高台になっており、700m先ある高島屋ビルが目に入る。本日ゴールの横浜駅が近いことを肌で感じる。



※仲木戸駅、神奈川駅

18時17分横浜駅に到着する。京急横浜駅が目にはできなかつたため、担当者に尋ねる。「中央改札口前にあるかも知れませんね」のアドバイスをもらい出向くが残念ながら見当たらず。それで駅ビルの横浜駅とJR横浜駅の看板で代用する。この作業に十数分要する。相鉄線横浜18時40分の電車で家路に向かう。さがみ野でバスにて帰る予定であ

ったが待ち時間が 15 分位あったので 2.5Km 歩いて帰る。自宅には 19 時 45 分到着。本日の万歩計は 41,308 歩だった。本日久しぶりに延べ 30Km 位歩き、いい汗をかくことができた。満足する一日だった。



横浜駅